英文法 L01 第 9 講 肯定文・否定文

学習目標

- be 動詞の肯定文・否定文について、主語に合う形を選ぶことができる。
- 一般動詞の肯定文・否定文について、do・does の使い分けと動詞の形を判断できる。
- 主語と動詞の対応を根拠に、肯定文・否定文の誤りを見分けることができる。

肯定文と否定文

肯定文とは、ある状態や動作について「〜である」「〜する」と述べる文である。

否定文とは、ある状態や動作について「〜ではない」「〜しない」と述べる文である。

英語では、否定文を作る方法が動詞の種類によって異なる。

- **be 動詞の文**：am・is・are の後ろに not を置く。
- **一般動詞の文**：do not または does not を使い、その後ろに動詞の原形を置く。

本講では、現在形の基本的な肯定文と否定文を扱う。

1. be 動詞の肯定文・否定文

be 動詞は、主語の状態や性質、所在などを表すときに使う。

現在形の be 動詞には、am・is・are の 3 種類がある。

be 動詞の否定文は、be 動詞の直後に not を置く。

語順は次のようになる。

文の種類	語順
肯定文	主語 → be 動詞 → 続き
否定文	主語 → be 動詞 → **not** → 続き

主語に応じて be 動詞を選び、その直後に not を置けばよい。

肯定文

She is ready.

彼女は準備ができている。

否定文

She is not ready.

彼女は準備ができていない。

否定文でも、主語 She に対応する be 動詞 is は変わらない。is の後ろに not を加えることで、状態を否定している。

be 動詞の選択は、次の対応で判断する。

主語	現在形の be 動詞	否定の形
I	am	am not
he・she・it、単数の人・物	is	is not
you・we・they、複数の人・物	are	are not

you は 1 人を指す場合でも are を使う。

©ミライコーチング

2. 一般動詞の肯定文・否定文

一般動詞は、read（読む）、eat（食べる）、play（する・遊ぶ）など、動作や状態を表す動詞である。

現在形の肯定文では、主語が三人称単数の場合、一般動詞に通常 s や es が付く。

三人称単数とは、I・you 以外の 1 人の人や 1 つの物を指す主語のことである。he・she・it や、Ken などが該当する。

一般動詞の否定文では、do not または does not の後ろに動詞の原形を置く。

主語	肯定文の動詞部分	否定文の動詞部分
I・you・we・they	read	**do not** read
he・she・it、単数の人・物	reads	**does not** read

肯定文

He reads books.

彼は本を読む。

否定文

He does not read books.

彼は本を読まない。

肯定文では、主語 He に合わせて read に s を付けている。

一方、否定文では does not を使うため、後ろの read には s を付けない。

does という形が主語の三人称単数という情報を表しているため、後ろの一般動詞は原形になる。

なお、本講の一般動詞の肯定文では、強調の do・does を加えない通常の現在形を扱う。

肯定文から否定文への語順の変化

be 動詞と一般動詞の違いを、語順の表で確認する。

型	主語	肯定文の動詞部分	否定文の動詞部分	後ろの語句
be 動詞	I	am	am **not**	ready
be 動詞	She	is	is **not**	ready
be 動詞	They	are	are **not**	ready
一般動詞	We	read	**do not** read	books
一般動詞	He	reads	**does not** read	books

主語	肯定の意味	否定の意味
I	私は準備ができている	私は準備ができていない
She	彼女は準備ができている	彼女は準備ができていない
They	彼らは準備ができている	彼らは準備ができていない
We	私たちは本を読む	私たちは本を読まない
He	彼は本を読む	彼は本を読まない

表の見方は次のとおりである。

- be 動詞では、am・is・are の**後ろ**に not が入る。
- 一般動詞では、do not・does not が動詞の**前**に入る。

・一般動詞では、does not の後ろも必ず動詞の原形になる。

判断する順序

1. be 動詞の文か、一般動詞の文かを確認する。
2. 主語が何かを確認する。
3. 肯定文か否定文かに応じて、必要な形を選ぶ。

特に、主語が三人称単数の一般動詞の否定文では、does not と動詞の原形をセットで考えることが重要である。

3. 否定文の短縮形

否定文では、not を含む部分を短くした形もよく使われる。

元の形	短縮形	英文	和訳
is not	isn't	She isn't ready.	彼女は準備ができていない。
are not	aren't	They aren't ready.	彼らは準備ができていない。
do not	don't	We don't read books.	私たちは本を読まない。
does not	doesn't	He doesn't read books.	彼は本を読まない。
I am not	I'm not	I'm not ready.	私は準備ができていない。

isn't と is not、doesn't と does not などは、基本的に同じ否定の内容を表す。

ただし、短縮形を使っても、後ろに置く動詞の形の規則は変わらない。

間違えやすい形

I を主語にする be 動詞の否定文では、am not を使う。

本講では、I am not の短縮形として I'm not を使う。

また、一般動詞の否定文では、主語が三人称単数でも does not の後ろに s を付けない。

本講で扱う現在形の be 動詞の否定文では、do not・does not を使わない。

この 3 点を区別しておけば、基本的な否定文の形を判断しやすくなる。

1

次の英文を、**現在形の否定文**として完成させるのに最も適切な語句を A〜D から 1 つ選べ。

She (　　) ready for the trip.

・A. are not
・B. do not
・C. is not
・D. am not

解答・解説

正解
C. is not

完成文・和訳
She is not ready for the trip.

彼女はその旅行の準備ができていない。

判断の決め手
まず、ready は「準備ができている」という状態を表す形容詞なので、ここでは be 動詞を使う。

次に、主語 She は三人称単数なので、現在形の be 動詞は is となる。

設問では否定文を作るため、is の直後に not を置く。

したがって、is not が正解である。

各選択肢の検討
- **A. are not：誤り**。 are は you や複数の主語などに対応する。She には使えない。
- **B. do not：誤り**。 do not は一般動詞の否定文で使う形である。ready という形容詞の前で、必要な be 動詞の代わりにはならない。
- **C. is not：正解**。 She に対応する is の直後に not を置いている。
- **D. am not：誤り**。 am は主語が I の場合に使う。She には対応しない。

2

次の英文を、**現在形の否定文**として完成させるのに最も適切な語句を A〜D から 1 つ選べ。

He (　　) milk with breakfast.

- A. does not drink
- B. do not drink
- C. does not drinks
- D. is not drink

解答・解説

正解
A. does not drink

完成文・和訳
He does not drink milk with breakfast.

彼は朝食のときに牛乳を飲まない。

判断の決め手
まず、「飲む」という動作を表す一般動詞 drink を使う文である。

一般動詞の現在形の否定文では、do not または does not を使う。

主語 He は三人称単数なので、does not を選ぶ。

さらに、does not の後ろには動詞の原形 drink を置く。

したがって、does not drink が正解となる。

各選択肢の検討
- **A. does not drink：正解**。 He に対応する does not を使い、その後ろに原形 drink を置いている。
- **B. do not drink：誤り**。 He は三人称単数なので、do not ではなく does not を使う。
- **C. does not drinks：誤り**。 does not の後ろには原形を置くため、drinks ではなく drink が必要である。

©ミライコーチング

- **D. is not drink：誤り。** この文では一般動詞 drink を否定するため、is not の直後に原形 drink を置く形にはならない。

演習問題

以下の各問について、指定された現在形の文を完成させるのに最も適切な語句を A〜D から 1 つ選べ。

1

次の英文を、**現在形の肯定文**として完成させよ。

Ken (　　) my classmate this year.

- A. are
- B. is
- C. am
- D. do

2

次の英文を、**現在形の否定文**として完成させよ。

We (　　) late for school today.

- A. is not
- B. am not
- C. do not
- D. are not

3

次の英文を、**現在形の否定文**として完成させよ。

I (　　) hungry after lunch.

- A. am not
- B. is not
- C. are not
- D. do not

4

次の英文を、**現在形の肯定文**として完成させよ。

The new books (　　) on my desk.

- A. am
- B. is
- C. are
- D. does

©ミライコーチング

5

次の英文を、強調の do・does を使わない通常の**現在形の肯定文**として完成させよ。

Tom (　　) breakfast at seven every day.

- A. eat
- B. eating
- C. is eat
- D. eats

6

次の英文を、**現在形の否定文**として完成させよ。

These students (　　) lunch at school.

- A. does not eat
- B. do not eat
- C. do not eats
- D. are not eat

7

次の英文を、強調の do・does を使わない通常の**現在形の肯定文**として完成させよ。

My sister (　　) the piano after school.

- A. plays
- B. play
- C. playing
- D. are play

8

次の英文を、**現在形の否定文**として完成させよ。

The dog (　　) water from this bowl.

- A. do not drink
- B. does not drinks
- C. does not drink
- D. is not drink

©ミライコーチング

演習問題の解答・解説

1

正解
B. is

完成文・和訳
Ken is my classmate this year.

ケンは今年、私のクラスメートである。

判断の決め手
my classmate は「私のクラスメート」という名詞のまとまりであり、主語 Ken との関係を be 動詞で表す。

Ken は 1 人の人を表す三人称単数なので、現在形の be 動詞は is となる。

また、肯定文を作る指定なので、not は不要である。

各選択肢の検討
- **A. are：誤り**。 are は you や複数の主語などに対応する。Ken には使えない。
- **B. is：正解**。 三人称単数の Ken に対応する be 動詞であり、肯定文が成立する。
- **C. am：誤り**。 am は主語が I の場合に使う。
- **D. do：誤り**。 my classmate と主語 Ken を結ぶには be 動詞が必要である。do を置いても目的の文にはならない。

2

正解
D. are not

完成文・和訳
We are not late for school today.

私たちは今日、学校に遅刻していない。

判断の決め手
late は「遅れている」という状態を表す形容詞なので、be 動詞を使う。

主語 We には are が対応する。

否定文を作るため、are の直後に not を置く。

各選択肢の検討
- **A. is not：誤り**。 is は he・she・it などの三人称単数に対応する。We には使えない。
- **B. am not：誤り**。 am は主語 I に対応する。
- **C. do not：誤り**。 late はここでは形容詞である。do not だけでは必要な be 動詞の役割を果たせない。
- **D. are not：正解**。 We に対応する are の後ろに not を置いた、正しい否定文の形である。

3

正解
A. am not

完成文・和訳
I am not hungry after lunch.

私は昼食後、おなかがすいていない。

判断の決め手
hungry は「空腹である」という状態を表す形容詞なので、be 動詞を使う。

主語 I に対応する現在形の be 動詞は am である。

否定文を作るので、am の後ろに not を置く。

各選択肢の検討
- **A. am not：正解**。 I に対応する am を使い、その後ろに not を置いている。
- **B. is not：誤り**。 is は I には対応しない。
- **C. are not：誤り**。 are は I には対応しない。
- **D. do not：誤り**。 hungry は形容詞であり、この文では be 動詞が必要である。do not では代用できない。

4

正解
C. are

完成文・和訳
The new books are on my desk.

その新しい本は私の机の上にある。

判断の決め手
on my desk は「私の机の上に」という場所を表すまとまりである。

ここでは、本の所在を be 動詞で表す。

主語 The new books の中心となる名詞 books は複数形なので、be 動詞は are を選ぶ。

各選択肢の検討
- **A. am：誤り**。 am は主語 I に対応する。
- **B. is：誤り**。 is は三人称単数に対応する。books は複数形なので使えない。
- **C. are：正解**。 複数主語 The new books に対応する be 動詞であり、所在を表す肯定文が成立する。
- **D. does：誤り**。 この文では本の所在を示す be 動詞が必要である。does では文が成立しない。

5

正解
D. eats

完成文・和訳
Tom eats breakfast at seven every day.

トムは毎日 7 時に朝食を食べる。

判断の決め手
eat は「食べる」という一般動詞である。

主語 Tom は三人称単数なので、通常の現在形の肯定文では動詞に s を付ける。

eat の三人称単数現在形は eats である。

各選択肢の検討
- **A. eat：誤り**。 Tom は三人称単数なので、通常の現在形の肯定文では eat のままにできない。
- **B. eating：誤り**。 eating だけでは、この文の述語となる動詞の形が完成しない。
- **C. is eat：誤り**。 be 動詞 is の直後に一般動詞の原形 eat を置くことはできない。
- **D. eats：正解**。 三人称単数の Tom に対応する一般動詞の現在形である。

©ミライコーチング

6

正解
B. do not eat

完成文・和訳
These students do not eat lunch at school.

これらの生徒は学校で昼食を食べない。

判断の決め手
eat は一般動詞なので、現在形の否定文では do not または does not を使う。

主語 These students は複数なので、do not を選ぶ。

その後ろには一般動詞の原形 eat を置く。

各選択肢の検討
- **A. does not eat：誤り**。 does not は三人称単数の主語に対応する。These students は複数なので使えない。
- **B. do not eat：正解**。 複数主語に対応する do not と、原形 eat を正しく組み合わせている。
- **C. do not eats：誤り**。 do not の後ろには動詞の原形を置く。eats ではなく eat が必要である。
- **D. are not eat：誤り**。 一般動詞 eat の否定文を作るのに、are not の直後へ原形 eat を置くことはできない。

7

正解
A. plays

完成文・和訳
My sister plays the piano after school.

私の姉（妹）は放課後にピアノを弾く。

判断の決め手
play は一般動詞である。

主語 My sister は 1 人の人を表す三人称単数なので、通常の現在形の肯定文では plays を使う。

主語が三人称単数かどうかは、my などの語ではなく、中心となる名詞 sister を見て判断する。

各選択肢の検討
- **A. plays：正解**。 三人称単数の My sister に対応する、一般動詞 play の現在形である。
- **B. play：誤り**。 My sister は三人称単数なので、通常の現在形の肯定文では s が必要である。
- **C. playing：誤り**。 playing だけでは、この文の述語となる動詞の形が完成しない。
- **D. are play：誤り**。 be 動詞 are の後ろに原形 play を置くことはできない。また、are は単数主語 My sister にも対応しない。

8

正解
C. does not drink

完成文・和訳
The dog does not drink water from this bowl.

その犬はこのボウルから水を飲まない。

判断の決め手
drink は一般動詞であり、設問では現在形の否定文を作る。

主語 The dog は 1 匹の犬を表す三人称単数なので、does not を使う。

does not の後ろには、動詞の原形 drink を置く。

三人称単数であっても、does not の後ろに drinks を置いてはいけない。

各選択肢の検討
- **A. do not drink：誤り**。 The dog は三人称単数なので、do not ではなく does not を使う。
- **B. does not drinks：誤り**。 does not の後ろには動詞の原形が必要である。drinks ではなく drink を置く。
- **C. does not drink：正解**。 三人称単数に対応する does not と、原形 drink を正しく組み合わせている。
- **D. is not drink：誤り**。 この文では一般動詞 drink を否定する。be 動詞 is not の直後に原形 drink を置く形は使えない。